
南 敦* 大東島の植物分布について若干の新知見

Atsushi MINAMI* : A Few New Knowledge on Distribution
of Plants in Daitōjima

1977年8月4日～8日(5日を除く)に南大東島を、5日に北大東島を、調査した。大東島については初島住彦博士をはじめ、多くの学者が研究されているが、これらの報文に載っていないと考えられるもの(筆者の不勉強のことも多分にあると考えられるが、この点はお許しいただきたい)について、今回、若干の知見を得たので報告する。この調査にあたって現地で専門的な御教示をいただいた南大東島の西浜良修先生、また、植物の御同定をいただいた東京都立大崎高等学校の山本明先生、国立科学博物館植物研究部の金井弘夫先生、中池敏之先生等に深甚の謝意を表わす。更に調査旅行において色々とお世話になった同行の清水秀登先生に厚く御礼申しあげる。なお、特に重要な証拠標本は一部を除いて昭和52年9月16日に国立科学博物館に納めた。

(注)。(S)は南大東島、(N)は北大東島、での分布を示す。〈TNS.〉は国立科学博物館に納入した標本番号、〈M.〉は私の標本番号を示す。

1. ヒサカキ *Eurya japonica* THUNB. (S) 〈TNS. 348894〉

北部神社社叢や北西海岸の森で見る。本土のものとは比してやや鋸歯が大きいようである。自生であろう。

2. ミフクラギ *Cerbera lactaria* HAM. (N, S) 〈TNS. 348902〉

北大東島の製糖工場の前の池に稀産しているが、南大東島の東海岸にもやや多い。自生であろう。

3. アカギ *Bischoffia javanica* BL. (S) 〈M. 10023〉

北部神社々叢にある。島で聞いた話では“神木でなく、植えたのではない”ということである。

* 山口県立柳井高等学校 Yanai High School, Yamaguchi Pref.

4. タイワンレンギョウ *Duranta plumieri* JACQ. (S) <M. 10031>
北部神社社叢や道路側, 更に民家にもある。紫花または白花。移植や逸出であろう。
5. アオバノキ *Symplocos cochinchinensis* (LOUR.) MOORE (S) <TNS. 348901>
北部神社社叢や北部森林にもある。自生であろう。
6. イタジイ *Castanopsis sieboldii* (MAK.) HATUSIMA (S) <TNS. 348900>
北部神社社叢にある。大木や小苗もあるが, 移植か, 自生か不明である。
7. クスノキ *Cinnamomum camphora* (L.) PRESL. (S) 同定が容易な種なので標本はとらなかつた。
北部神社社叢や道端にある。大木や小苗もある。移植したのだといわれている。
8. ヤブツバキ *Camellia japonica* L. (S)
北部神社社叢にある。移植したものがあがるが全て移植かどうかは不明。昔, 山に大きなものがあつたという人もいる。同定が容易な種なので標本はとらなかつた。
9. イワダレソウ *Phyla nodiflora* (L.) GREENE (N) <TNS. 348899>
西海岸にある。自生である。
10. ヤリテンツキ *Fimbristylis ovata* (BURM f.) KERN (N) <TNS. 344041>
北海岸にある。自生である。
11. オウゴンカズラ *Scindapsus aureus* ENGLER (N) <M. 10074>
北部の“開拓主故玉置半右衛門君の碑”のまわりに帰化したもので, かなり繁殖している。
12. コダカラベンケイ *Bryophyllum daigremontanum* BERGER (N) 証拠標本は自宅において栽培中である。
オウゴンカズラの周囲に多い。しかも, 岩上, 石垣等に密生している。セイロンベンケイソウと混生する場合もあるが, 住み分ける場合が多い。こちらの方がより乾燥した場所, または, やせた場所を占める帰化植物である。
13. カワリバナハマグウ *Vitex rotundifolia* L. f. var. *heterophylla* (ROXB.) MAK. ex HARA (S)
北海岸に多い。細い枝の葉は単葉であるが, 大きい枝の葉は三裂したり, 三出したりする。自生である。
14. ヤマガキ *Diospyros kaki* THUNB. var. *sylvestris* MAKINO (S) (M. 10123)
北部神社社叢にあるが, 栽培柿の逸出したものであろう。
15. コナラ *Quercus serrata* THUNB. (S)
北部神社社叢にある。昭和52年8月7日, 西浜良修先生にお見せし, 御確認をいただいたのだが標本が消失してしまった。

主な参考文献

- 初島住彦 (1971) 琉球植物誌 沖縄生物教育研究会
初島住彦 (1973) 大東島天然記念物調査報告「大東島の植物」文化庁
初島住彦 (1973) 大東島の植物 植物と自然 ニューサイエンス社